

## “ 未来のいやしとサミット — 黙示録1:1-3 ”

### 第1講義

## 「問題 — 人生の作品」

必ず覚えておくべきこと。神様はみなさんを未来のいやしとサミットとして呼ばれた。みなさんの悩みは隠してあるだろう。それが今回の集会で解決され、証人として立たなければならない。みなさんの悩みがなんだろうか？その悩みが問題なのではなく、それを解決することのできる方法を知らないことが問題だ。

RT7人は何も無い中でどのように勝利したのか？特にヨセフは奴隷として行ったのだが、総理となった。どのようにして、だろうか？問題を、自分の人生の作品としたのだ。

### 序論

鮮 明 に	確 実	1. Covenant
		2. Vision
		3. Dream
		4. Image
		5. Practice

#### 1. 奥義

5つの単語を覚えておきなさい。レムナント7人と成功者たちが勝利した奥義だ。RT7人は、どのように勝利したのか？今みなさんの1番の隠れた悩みがなんだろうか？それをどのように勝利へと変えることができるのだろうか？同じ話だ。

① **Covenant** この世の中で、最も大きな危機が何か？戦争？麻薬？様々なものがあるだろうが、地球上で最高の危機がなんだろうか？病？青少年の問題？そうではない。神様がくださった完全な福音を正しく知らないクリスチャンが一番の問題だ。神様は成功者やレムナントたちに何を教えられたかという、この福音であれば全てが解決されるのだ、ということだった。これを逃したことが、既成世代の最も大きな失敗だ。牧師先生たちの1番の失敗だ。ヨセフ1人が、世界を生かした。福音、契約。重要だ。これをみなさんが探し出さなければならない。

② **Vision** 2つ目。この福音、この契約で、今からみなさんの人生で最も重要なvisionを見なければならない。みなさんがなにも持っているものがなかったとしても、visionは持つことができる。逆に、すべてのものを持っていたとしても、visionがないのであれば全てを失ってしまう。visionは、私が探すものであるかのように思えるかもしれないが、神様がくださるものだ。今日から作りなさい。

③ **Dream** 3つ目。神様がくださったvisionを持って、今から夢を描きなさい。みなさんが誤っているのではなく、夢が間違っている。私は応えがない？それは、間違った夢を持っているからだ。つまり、①、②を

受けることができなかったということ。

④ **Image** だから、今から、この夢を成して行く、4つ目の単語が、イメージだ。これを祈りで、考えで、続けて成し遂げられていく。これが、祈りだ。

⑤ **Practice** 実際にこの応えを一つずつ味わうようになって行く。実践するということ。

\*私にはなぜ応えがないのだろうか？この5つがないからだ。私は祈りをたくさんしてるのに？誤っているからだ。この5つの部分が誤っているから。神様の人は、誰であっても答えを受けることができる。とても重要な部分だ。

## 2. 生活 – 今日 (過去、今、未来)

この部分から、みなさんの生活が出てこなければならない。

ヨセフ。ヨセフは兄たちの知らない、契約を持っていた(Covenant)。だから、大きな苦しみを前にしても勝利することができた。世界福音化という確実なビジョンを受けた(Vision)。その夢を見るくらい。それが実際に、自分の夢だった(Dream)。これをいつも考えていた。主がヨセフとともにおられるので(Image)。これは大変なことじゃない。奴隷として行った、その場所で実践した(Practice)。

レムナントがこの奥義を知るようになるのであれば、本当に大きな応えを受けるようになる。しかし、これを理解できなければ、応えを逃してしまふ。ある人は、たくさん努力をしたのに、あまり応えを受けない。ある人は、そんなに努力をしていないのだが、大きな応えを受ける。そこには、1.の部分の差があるのだ。今わたしは苦しいです？だから、今日だ。明日について考えるのではなく、今日。なぜなら過去が、今日の中に含まれているから。今日というのは、今が含まれている。そして未来が今日の中に含まれている。だから、この契約を握っているのであれば、神様は必ず成し遂げられる。

バヌアツ？この国が応えを受けるようになると、その周囲の6つの国が生かされるようになる。その夢を描き、それをおいて祈ること。なぜならそれが神様の計画であり、契約であり、私たちの生活だから。車椅子に乗ったレムナントたちもいる。今日、だ。他の人の100年、1000年の未来が、今日の中に込められている。過去の全ての問題の解決？それも、今日の中に。どんな応えが与えられるかは、誰にもわからない。

### 確実、鮮明に

みなさんの中には私はこれをおいて一生祈っていかなければならない、というものがあつたりするだろう。もしくは、私の悩みはこれだ、ということが。もしかしたら牧師先生のなかで、私たちの教会にはこんな苦しみがある、という人もいるだろう。必ずこの5つを作りなさい。どのようにか？確実に作りなさい。そして、適当に作るのではなく、契約を握って生き生きとしたものとして。

確実な絵を描きなさい。そして、実際的に祈り始めることだ。奴隷として行った？そこで、成功させること、それが実践だ。この5つの単語を知らないのであれば、決して応えを受けることはできない。未信者も夢の話をするだろう？しかし、彼らは決して①、②の部分知らないのだ。今回、これを作りなさい。私が何の答えもない時に、ある日、考えるようになった。福音で終わりだ。それを悟るようになった。私の一番嫌いな人は、福音以外のことをいう人。それは福音を知らないのと同じであり、救いを受けていない人と同じ状態。しかし、終わったのだ。キリストが全ての問題を終わらせられた。それを握るようになった。それも、確実に。であれば、神様の計画は、世界福音化のために私を用いられること。であれば、私はどれ

くらいしなければならないのか？夢。これを定めたのだ。1000万弟子。その弟子を立てようとするのであれば、レムナント。その部分を置いて続けて祈るようになった。それが、イメージであり、24。問題がきた？大丈夫。実戦。大きな問題が？大丈夫だ。私は体が弱い？大丈夫だ。実戦。むしろ、それを通して何万倍もの応えが来るようになる。

ただの夢ではない、契約の夢。ただの生活ではない、契約を成し遂げる生活。私が一生の間、これを握って祈ってきたのだが、今、全世界の所々にレムナントたちが起こされていっている。勉強よりももっと重要なことが、この部分だ。これをした上で、勉強していかなければならない。一千万弟子という部分を抱いて出て行くから、学校に行って学ぶことも全てが資料となる。幸せだ。あらゆる問題？それも答えだった。みなさんは今、世界を征服する、契約を作らなければならない。2つ目の時間に、もっと正確に話す。どのようにして正確にして行くのか？明日。なぜ作らなければならないのか？それは、明後日。神様の子どもであるため、これ(① Covenant)が、すでに与えられているのだ。

### 3. 今日作品

だから、今日作品を作るだけでいいのだ。

## 本論

1. 私の短所を作品として作りなさい。2. 私の長所を作品として作りなさい。そして、3. 私に起こる事件を、作品としなさい。であれば、簡単だ。発展途上国に行けば、資源がたくさんあったりする。しかし、彼らには5つの奥義がない。であれば全てを逃してしまうのだ。だが、貧しい国の人の中で世界を動かした人たちはたくさんいた。もともと良い家柄の人もちろんいたのだが、発展途上国の中でそのような人物がたくさん出て来た。なぜか？この5つの奥義の差だ。障害者の中にも一般の人たちよりも大きな変化を起こした人たちがたくさんいる。例えば、クロスビー。

### 1. 私の短所

私の短所を、作品としなさい。

#### (1) ヨセフ、モーセ – 寂しさ

ヨセフ、モーセ。特徴が何か？誰にも助けることのできない、寂しさ。それを作品とした。

#### (2) ダビデ – 危機

最も危機の中にいた、ダビデ。これを作品としてしまった。

#### (3) 霊的問題

##### ① エリシャ ② イザヤ ③ パウロ

霊的問題時代と直面したのだが、自分は弱い。だから、エリシャも、イザヤも、パウロも、これを作品としてしまったのだ。

### 2. 私の長所

みなさんには長所がある。レムナント7人のうちで、みなさんにとって、代表的な人がいるかもしれない。

今は、ダビデから学んで欲しい部分がある。ダビデにはどんな長所があっただろうか？

(1) 文章 (2) 音楽 (3) 羊飼い

他の人よりも、優れていた部分がこの部分が音楽だった。そして、羊飼いとして長所を育てて行った。そうしながら、完全に作品を作ってしまった。レムナントの時期は正確に契約を握り、世界福音化を探し出し、夢を持つのであれば、作品を作って行くのであれば、神様は必ず成就される。逃してはいけない。

### 3. 事件

(1) 家庭、教会

私は家庭や教会を見ながら決めたことがあった。あまりにも貧しく、無能なそれを見て、変えようと思った。そして、この5つの奥義を最初から整理した。みなさんもしなさい。そうするのであれば、神様が成していられる。

(2) 問題、葛藤、危機

神様は問題や葛藤、危機がきたように見えるのだが、それを通しながら応えを与え、成していられる。

(3) 癒しのサミット

みなさんの家系を、現場を、未来を癒すサミットへと行きなさい。

### 結論

#### 「霊的サミット」－ 作品 － 世界化

RT 7人が幼かった頃？ 兄たちを自分の思うようにすることはできなかった。ヨセフも、ダビデも。しかしできることが一つあった。霊的サミット、これになることはできた。この作品を作りなさい。そうするのであれば、それで終わりだし、必ずくる。兄たちに勝つことはできないが、霊的サミットになることができるためヨセフは勝利した。後には世界を動かすヨセフの前に跪くようになった。必ず覚えておきなさい。ダビデは兄たちに勝つことはできない。しかし、霊的サミットになることはできた。そのような彼の前に、兄たちは跪くしかなかった。

(レイ・ヴィトンの例)

3日間続けて賛美をし、祈り、みことばを聞くのだが、これを作品としなさい。知ってするのであれば大きな癒しが起こるようになる。これを知ってするのであれば応えが備えられている。そうしながら、こういったものを通しながら時刻表がくるようになっている。

みなさんはこれから、未来を、家系を、教会を生かさなければならない。自分の弱さ？ 短所のように見えるもの？ 何も落胆する必要など何もない。契約を握りなさい。必ず成就するようになるから。

(祈り)

神様に感謝を捧げます。私たちを契約で召されたことに感謝します。契約の旅程の中にいさせてください。主イエス・キリストの御名でお祈りします。  
アーメン。

## 「時代を生かす技能作品」

### 序論

2種類の人たちがいる。

1. **神様** 神様を信じる人と、信じない人。誰が正しいかはすでに証明されているだろう。神はいない、という共産主義はすでに失敗している。人間は、神様を知らないのであれば、動物と同じだ。むしろ、動物以下だろう。

2. **福音** 神様を知る人の中でも2種類の人がいる。福音を知る人と、福音を知らない人。福音を正しく知っている人はあまりいない。

3. **霊的世界（三位一体）** 福音を知る人の中にも、2種類の人がいる。霊的世界を知っている人、知らない人。これを知っていてこそ、祈りが可能だ。三位一体の神様が、今も、目に見えず、私たちと共におられる。私たちの背景はとてつもないものだ。私たちが祈るのであれば、今この時間にも御座の力が臨むようになっていて、目に見えない多くの御使いが遣わされるようになる。そして、私たちに与えられた権威。ただ賛美をすることもできるが、賛美をする時間に、多くの暗闇の勢力が打ち砕かれるように。

4. **時代を動かすRT** これを知る人の中にも、2種類の人がいる。時代を動かす人だ。時代を全く動かすことのできない人もいるが、時代を動かすレムナントたちが出てきた。

### 确实

彼らは何をしたのか？确实にすべきこと、5つがある。

Covenant — 終わり → 始まり
Vision — 私、私のもの、私の現場
Dream — RT 7
Image — 申 6:4-9、Iサム 7:1-15、II列 6:8-24
Practice — 信仰 — 不可能 = 無 → 有 (再創造)

#### ① Covenant — 終わり → 始まり

時代を動かしたRTたちは契約が确实だった。どのようにか？全てのことが、キリストの中で終わった。つまり、キリストの中で、契約の中で、始めること。みなさんのどんな状況も始まりだ。すでに全ての暗闇の勢力は終わった。これを知らない大人たちがあまりにも多い。サウル王は、これではなく、ほかのものが必要だった。なぜなら、これで答えが出ていなかったから。ダビデはサウル王が必要とするものを必要としていなかった。なぜか？これに答えを下していたから。これが确实でなければならない。これが确实でないから、時代を動かすことができないのだ。だから、偽の、力のない信徒たちがたくさんいる。神様は全能なる神様なのに、私たちは力がなく、神様は創造主なる神様なのに、私たちは貧しく、神様はいのちを主管されている神様なのに、私たちは何もできなくて...

## ② Vision — 私、私のもの、私の現場

それが、ビジョンとしてこなければならぬ。visionとして迫ってくるというのは、とても重要なことだ。ついに、神様の造られた私、私のもの、私の現場を発見するようになったということ。

## ③ Dream — RT 7

この時から、確実な夢を描くように。ただ寝ているときに見る夢ではなく、生き生きとした夢が見えるようになって行く。レムナント7人がみなそうだった。確実だった。レムナント7人であるヨセフは世界福音化という確実な夢を持っていた。これは、終わりを知っているということだ。だから、結論が出た。レムナントたちは探し出さない。

## ④ Image — 申 6:4-9、Iサム 7:1-15、II列 6:8-24

イメージ。あらかじめ受ける応えを知って味わい始めること。カデシュ・バルネアで集まった。申6:4-9 のみことばを、額に、手首に、壁に、道を行くときにも、寝るときにも、座しているときにも刻印しなさい。確実なカナンへの地に入るようになる。この契約を握って行ったから、ヨルダンが分かかれ、エリコが崩れた。必ずくる。この契約を握って行く人の前に、ヨルダンがわかかれエリコが崩れてしまった。ついには太陽と月が止まるようになった。必ず成就する。夢ではなく、神様がくださる夢だ。ただのvisionではなく、福音の中にあるvision。

## ⑤ Practice — 信仰 — 不可能 = 無 → 有 (再創造)

そうしながら、最高に向かって挑戦しなさい。どんな実践か？みなが行くことはできないというところに、行くのだ。信仰だ。いや、それは不可能だ、今カナンへの地に入って行ったら、みな死んでしまう、と言った。しかし、ヨシュアとカレブは信仰を持っていた。この契約をしっかりと握っているのであれば、終わるのだ。

(Image) Iサム7:1-15 ミツパ運動。確実な夢を持って、それを確実に味わいなさい。来る前にあらかじめ味わうことだ。そのため、みことばを聞くし、だから、祈るのだ。誤ったものを味わうのではなく、正しく味わいなさい。II列6:8-24 ドタンの町の運動。エリシャがどのように味わったのか？エリコも、ギルガルも、ベテルも必要ない。私に与えられた地？それも必要ない。何を望むのか？私に霊の2倍の分け前を与えてください。これは、すでにドタンの町の運動を念頭においてのものだった。レムナントが念頭においておくべきことは、神様の契約であれば、必ず成就するようになるということ。

これが完全に祈りとなってしまうわけにはいかない。明日、祈りについてシェアする。昨夜2時間賛美しただろう。ともに賛美しながら感じたことがある。レムナントたちはこの時間以外には、賛美以外には祈りができないかもしれない。これが、祈りかもしれない。もしかしたら信徒さんたちも、賛美をするとき以外には祈りができないかもしれない。であれば、集会に集まって賛美して祈るということは、とても大きな意味がある。もっと重要なことは、明日話そうと思う。この5つを持って行かなければならぬ。そうするのであれば、どんなところにおいても、祈りが成り立つようになって行く。すぐに応えがくるものもあるが、ゆっくりと与えられるため、行く所々で働きが起こる。レムナントたちは必ず握らなければならぬ。そうしながら、崩れた教会を生かしなさい。既成世代は知らないから、全く力がない。レムナント7人は行って、これを探し出した。不可能に挑戦した。何も無いところから、再創造へと挑戦したのだ。重要な

ことだ。

明日も話すが、実際にみなさんはこれをいつもできる祈りで作っていかなければならない。みなさんの勉強もこのようになっていかなければならない。勉強が重要なのではなく、これをするために勉強をしなければならない。そうだろう？この中に全て含まれている。神様と契約、福音だ。福音で終わっていない人は、必ず失敗する。そのような人と大きな事業をしてはならない。レムナントたちが福音で完全に答えが下りていない人と結婚するようになるのであれば、それは結婚生活ではなく、奉仕活動となってしまう。

## 本論

これが出てくるようになる時…。

### 1. 生きた契約の旅

この時から生きた契約の旅を歩むようになる。

(1) **みことば** この時から、みことばについて行くようになる。みなさんに神様がくださったものが確実にないからみことばについて行くことが難しい。しかし、与えられたものが確実に見えるのであれば、みことばについて行くことができる。

(2) **読書** この時から、神様がくださったみなさんの大きな夢を成して行く本も読むようになる。本も気をつけて読まなければならない。本当に世界を生かそうと思うのであれば、この5つを生かしてくれる本を読まなければならない。

(3) **1, 3, 8** そうしながら、いつもキリスト、神の国、ただ聖霊によって、再解釈を。

(4) **礼拝** 礼拝を捧げる時ごとに生かされるように。

(5) **ただ**

(6) **唯一性**

(7) **再創造** この時から何が出て来るだろうか？ただ、唯一性、再創造だ。

これを指して、時代を生かす技能作品だ、と。これが未来を癒し、サミットへと行くようになる。1 講義目の人生作品、そして技能作品が出て来るようになるのだ。

### Dream – 成人式、使命式、派遣式

この夢、という部分において、すべきことがある。私が考えながら、これをするべきだ、となった？であれば、レムナントたちは確認しなければならない。私はこれから何をすべきか？ただ友達が、「あなたはこれをしたらいんじゃない？と言って来るかもしれない。それがあっているかもしれない。それを確認しなければならない。そうだろう？本当に5つから出てきたのか？そして、本当に可能なことなのか？

ユダヤ人は、これをするべきだ、ということが出てきたら、専門人たち10人を呼んで話を聞く。それを指して成人式だという。成人式をするくらいみなさんの夢を確実にしなさい。いえ、私は力がありませんよ？力が無い人を生かす夢を確実にしなさい。私は貧しいですよ？であれば、貧しい人たちを生かす夢を、確実にしなさい。この確実に作るものというのは、前の2つ(Covenant, Vision)から出てきたものでなければならない

し、そして、後ろの2つ(Image, Practice)が出てくるものでなければならない。そうすると現場に行ってこれが合わなければならない。会堂。成功者たちが集まる。ロッジというのだが、そこで、確認することだ。

これは説明がたくさん必要で、私がただしている話ではない。レムナントのみなさんは、今から人生の作品、技能の作品を造りなさい。大人たちにはできないことをしなさい。可能だ。多くの既成世代がこれを逃してきた。また、ある人たちは、夢だけを持っている。しかし、危険だ。前の2つなしに後ろの3つだけをして行くのは、未信者だ。未信者のものを学んではいけない。海外からきたメンバーもいる。みなさんの国を生かす、この序論の内容を、作りなさい。バヌアツからきた？その周囲にある6つの国を生かす5つを作りなさい。私にはできません？カナン地？行けないです？誤っているだろう。カナン地に行くのは、神様の計画だ。私たちは絶対にローマに勝つことはできない？しかし勝利しただろう。これは確実なものだ。この契約をしっかり握っていないといけない。

## 2. 学業 — 技能作品

そうすると、みなさんの学業が技能の作品となる。

### ダビデ

ダビデを例として挙げよう。ダビデの羊飼いの技能によって、ゴリアテをやっつけた。そのようになる。ダビデの作った詩や賛美が、サウル王についた悪霊を退けるようになった。このように応えがくるようになっているのだ。技能の作品。時代を変える、技能作品。5つだけを作ってしまえばいい。

幼い頃に父親と話しながら、契約を握った。しかし、失敗し続けていった。弁護士もしたが失敗した。そして政治家になってみたが、失敗した。ダメだと思っていたのだが、ついに大統領となった。その時に神様のみことばで握っていたもの、それを掲げて出て行った。この時代で最高の大統領として歴史に残った。それが、リンカーンだった。Gal 3:28を持って黒人を解放した。みながダメだといったのだが、偉人たちは神様のみことばをしっかり握っていた。必ず成就するようになっている。

## 3. 技能作品の目標

この技能作品の目標がある。

- (1) **王** レムナント7人を王の前に導かれた。モーセ、ヨセフを。ダニエルを、パウロを。カイザルの前に立たなければならない。
- (2) **答え** そこに対して、答えを与えた。
- (3) **癒し** そして癒した。

みなさんが5つの部分だけ持っているのであれば、応えがくる。みなさんには確実なビジョンと夢がない。なぜなら、みことばを逃しているから。しかし、福音の中にあって、必ずビジョンと夢があるのだ。であれば、必ず成就するようになっている。小さな者も氏族となり弱い者も強国となる。時が来たら、わたし、主が速やかにそれをする。

## 結論 — 常時祈り（霊的サミット、技能サミット、文化サミット）



明日も話すが、成就祈りに変えてしまわなければならない。常時祈りというのは、時間が定められたものではないから、いつでもどこでも成り立つものだ。集まって、賛美をするだけで終わってしまうのであれば意味がない。賛美して、祈って…。その時だけで終わってしまうのではなく…。多くのレムナントたちが、5つをもって、どこにいたとしても祈ることができなければならない。これをしっかり持って行くこと。そして、ただの夢ではなく、レムナントたちが王の前に立ったように、最高の夢を持ちなさい。そして、みことばについて行きなさい。これからどうするべきか？そのような心配をする必要はない。今日、今、どこにいたとしてもみことばについて行くことだ。そうなるしまえば終わり。成し遂げていかれるのは、神様だから。探し出しなさい。賛美だけして終わってしまうのではなく、探し出して持って帰りなさい。恐れることはない。そうだろう？5つを持っていたヨセフは全く恐れることがなかった。イザヤも。シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴ、ダニエルは死を前にしても恐れなかった。今も応えられている。

そうなるのであれば、みなさんは霊的サミットに行くようになり、そこから技能サミットが出てくるように。この2つから、文化サミットが出てくるようになる。必ず覚えておきなさい。

メッセージをたくさん聞くよりも、確実に。世の中のものについて行くのではなく、契約にしたがって握りなさい。世界を生かすイメージを味わいなさい。まだきていないが、いま味わうことをさして、イメージだ、と。あらかじめ見ること。夢を描くだけでなく、実際的に見たこと、それがイメージ。そして、実際に進んで行くこと。信仰によって…。

これを実際に祈りに変えてしまえばいい。祈り？座ってする祈りがあれば、動きながらする祈りもある。その祈りに変えてしまわなければならない。この祈りの中に、実際的に入って行きなさい。レムナントたちは、今回、1つだけ設定しなさい。そうしながら、どうなって行くのか。神様はみなさんを時代を生かすレムナントとして呼ばれた。確実にだから、その契約を握りなさい。

(祈り)

神様に感謝を捧げます。契約の人としてくださり感謝します。勝利の人としてください。世の中を生かす人としてください。確実な契約と夢を握らせてください。イエス・キリストの御名でお祈りします。  
アーメン。

# 「MASTERPIECE OF GOSPEL & EVANGELISM

## — 福音と伝道の作品 —

神様は本当の祝福、政治・経済・文化を含むあらゆるものをどこに持っていかれるのか？ある時はローマに、あるときはイギリスに、あるときはドイツに。そうしながら、アメリカに。その理由は？福音がどこにあるのかに従って。そして、伝道がどこで成されて行くのかに従って。神様はレムナント7人にすべてのものを与えられた。これを作ったから。作品だ。神様は、この福音と伝道の作品、人生の作品を作った人に、すべてのものを与えられた。福音と伝道の作品。努力すればいい、というのは昔の話であり、本当に何を努力すればいいのだろうか？とにかくすればいい、というのは発展途上国での話であり、何をすべきなのか？これをする事だ。レムナントたちはこれから未来の道もこれを見て進んで行くことだ。

### 序論

なぜか？なぜ神様はレムナント7人に全てものを持っていかれたのか？

#### 1. 理由

理由を知っていたから。だから神様はすべてのものを彼らに与えられたのだ。ダビデ一人を例にとってみよう。サウル王が悪霊に憑かれた。賛美をするときに、悪霊が離れ去った。ゴリアテがきた時に、誰も出て行くことができなかったのだが、ダビデは自ら出て行った。その時に言ったこと。兄たちはなんでお前が戦おうとするのかと言ったのだが、その時に答えたこと。理由があるからだ、と。必ず知っていなければならない。

#### ヨハネ 8:44 サタン

どれだけ立派な人でも、ヨハ8:44を見ると、サタンにコントロールされている。みなさんがこれから結婚するときにも参考にしなければならない。どれだけ立派な人だったとしても、その所属はここなのだ。それをダビデは知っていた。あらゆる強大国がサタンに仕えているのだという事実をレムナントたちは知っていた。わかるだろう？だから福音が必要だし、だから強大国は滅びた。それも戦争を起こし、多くの人たちを殺した上で。エジプト、ペリシテ、アラム、バビロン、ローマ、みな今回の主題曲で出て来るが、サタンのコントロールの下にいたのだ。これを知っている人に神様はあらゆるものを与えられた。

#### 2. Covenant — Vision — Dream — Image — Practice

- ① **Dream** だから、確実な夢を握りなさい。今日。みなさんに大きな問題がある？それを、大きな夢を描くために作りなさい。ここで人生の作品を作りなさい。
- ② **Vision** ただ作るのではなく、神様のくださるビジョンによって作りなさい。確実に作る事。恐れることなく、最高の契約の夢を描きなさい。
- ③ **Covenant** これは、ただついてくるものではない。契約に従っていかなければならない。
- ④ **Image** この夢を、みことばと祈りによって描き続けて行くこと。みことばと祈りで作り続けて行くの

だ。

⑤ **Practice** そして、それを実践すること。一つずつ。聖書を暗唱するよりも、メッセージを聞いて、小さなこと一つを実践することの方が、もっと重要だ。

これが、2つ目。神様は全てのことを集めて与えられたのだ。

### 3. WITH

そして、なんだろうか？ 普段から、with。神様とともに、その契約とともに、そのビジョンとともに、その夢とともに。そのみことばとともに、その現場とともに、WITHだ。必ず勝利するようになる。成功しようとしなくても成功するし、競争をしなくても勝利するようになる。

1) **RT 7人** レムナント7人がそうだった。私がこういうことをした、とは告白しなかった。彼らは、主が私とともにおられるので。主が私を送られたので。主が私とともに…。ダビデは主が私を導かれるから。

2) **バビロン** 火の中に入っても主が助けられる。そう出なかったとしても。

3) **パウロ** 初代教会。特に、パウロのような人。

ともに。これで終わりだ。

## 本論 – 危機

神様はいつ私たちを用いられるのか？ 危機の時に、用いられる。世の中が苦しみに遭うとき、神様はみなさんを用いられるのだ。

どのように、か？ 1. 誰も教えてくれない奥義を、その生活へと、みなさんを用いられる。2. 誰にもできないこと。ここに、送られる。そして、3. 誰にも誰にも行けないところへと送られるのだ。これがレムナントだ。神様の子ども。そして、伝道者。神様は全てのことを集めて与えられるようになっている。なぜだろうか？

### 1. 誰も教えてくれないこと

#### (1) 災い

災いが来たからだ。災いに逢ったとき神様はRTを送られた。暗闇に光を放つから、暗闇は自然になくなって行く。サタンの権威の下で生きている人たちに、キリストが証しされるからそのままなくなる。これをただ信じるのではなく、序論の2のように(5つを)しなさい。今から問題が生じたら、作って行きなさい。問題はすなわち夢だ。苦しみが来た？それがまさに夢だ。それが、夢をなして行く道なのだ。確認すればいい。

#### (2) Christ

災いに陥ったのだがどのようにか？ 落とし穴、それも完全に捕えられた枠、そして罠に捕らえられている。すぐにみ働きが起ころうが、苦しみが来ようが、きにするな。結局みな捕らえられて死ぬしかない。ここに対して、キリストを説明することだ。キリストは3つの呪いを完全に無くされた。そうだろうか？ 地獄、サタン、災いをみな亡くされた。

#### (3) 癒し

そして癒し。それもただ癒したのではない。

## 2. 誰にもできないこと

神様が私たちを通しながら、誰にもできないことをさせられる。

### (1) 答え

レムナントたちが行って、答えを与えた。神様がみなさんに答えを与えられる。確実に。みなさんがこの契約の中に入るのであれば、神様は答えを与えられる。

### (2) 夢

そして、他の人に、この夢を伝達することができる。

### (3) 上からの力（権威）

その程度ではない。上からの力。ただの力とは異なる、上からの力。誰にもできない、神様の人だけがすること。だから、本当の応えを受けなさい。偽物の前で怯えるな。

## 3. 誰にも行けないところ

みなさんが契約をしっかりとってこれから出発すること。最後まで持っているのであれば、結局暗闇が崩れるようになる。クロスビーの賛美も、成就し、全世界を生かすようになった。

## 結論

エペ 6:18

聖霊の満たしと5つの力

レムナント、1000弟子

RUTC – 教会

使徒 1:8

結論だ。みなさんはこれをもって、続けて祈りの中に入って行きなさい。私は時間を決めない。常時だ(エペ 6:18)。いつも、どんなところに行ったとしても、どんなことに遭っても、何を見ても、続けて祈る。聖霊の満たしと5つの力。レムナントと1000弟子。全世界のRUTCやみなさんの教会。

続けて祈って行く。これをもっと味わうこともできるし、短くすることもできる。1秒間にもすることができ、10時間でもすることができ。これを続けて祈って行くのだ。そうする中で、世界福音化をすることができる応えをくださった。人にできるものではない。この祈りを続けてして行く中で、20年前にはレムナントという単語をくださった。そうしながら、今このように応えが与えられている。続けて祈っているだけで、主が成就されて行く。

レムナント大会の登録。1月から初めて、訓練をして行きなさい。そして、一人一人が訓練の中で、契約を発見して来ることができるよう。応えを持ってフォーラムをしにくる証人の祭典の場となるような大会として行くことだ。そうしてこそ世界を生かすことができる。みなさんが契約だけにぎっているのであれば、必ず成就される。

## 使徒 1:8

最後の約束。ただ聖霊があなた方の上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そしてエルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまでわたしの証人となります。必ず成就される。この契約を持って行きながら、応えを受けることを願う。みなさんがご飯を食べながらも応えを受けるようになる。寝ているときにも。

(祈り)

神様に感謝を捧げます。私たちの道を導かれる神様に感謝します。私たちの人生を導かれる主に賛美を捧げます。これから世界を生かすサミットとしてください。イエス・キリストの御名でお祈りします。  
アーメン。